

性の多様性を前提にした
すべての子ども・若者のセーフガーディング
プライドプロジェクト・レインボー・セーフガーディング行動規範
(2025 年 1 月暫定版)

- 1 性のあり方（性自認、性的指向、性表現など）の多様性と、民族、肌の色、言語、宗教、政治的その他の意見、国籍、出自、持ち物、障害の有無、出生その他の地位に関わらず、すべての子ども・若者の尊厳と、かけがえのない存在としての価値を尊重します。
- 2 子ども・若者に対して、不適切な言葉を使ったり、屈辱的・攻撃的な言動は行いません。
- 3 子ども・若者に対して、身体的に傷つけたりする行為は行いません。
- 4 子ども・若者に対して、挑発的・侮蔑的・攻撃的な身振りや態度はとりません。
- 5 子ども・若者に対して、性のあり方の多様性を無視し、否定したり、決めつけたりする言動や表現は行いません。
- 6 子ども・若者に対して、本人の望まない性別（性自認と異なる性別）での扱いを続けたり、無理に性のあり方を伝えさせるカミングアウトを強要したり、性のあり方などについて本人の了承なく第三者に暴露するアウティングなどは行いません。
- 7 特定の子ども・若者を差別したり、搾取したり、ひいきしたり、排除したりする言動や行動は行いません。
- 8 子ども・若者と性的・肉体的関係を持つ、または持とうとする行為は行いません。
- 9 子ども・若者に対して、性的に挑戦的な言動は行いません。（健康に関する情報を伝えるなど、合理的に必要な場面ではなく、自らの性的な利益を目的として行われるような言動を指します。）
- 10 子ども・若者に対して、性的に挑戦的な身振りや態度をとりません。
- 11 ポルノグラフィー（児童ポルノグラフィーや過激な暴力を含む）を子ども・若者に見せる・参加させる行為は行いません。
- 12 どのような形態であっても、子ども・若者を性的な活動に関わらせたり、斡旋・紹介・誘導といった行為は行いません。
- 13 コンピューター、携帯電話、タブレット、カメラ等の活用やソーシャルメディア・インターネットの利用を適切に行い、決して子ども・若者を搾取したり侮蔑したりしません。また、いかなるメディアを通して子どもの搾取画像・映像等にアクセスしたり閲覧したりすることはしません。
- 14 活動に参加・参画する子ども・若者と、活動の目的以外の連絡・接点を持つ言動や行為は行いません。
- 15 周囲が把握していない状況や、完全に他者の目が届かない場所・密室的な環境といった、不安を与える状況で子ども・若者と 2 人きりで過ごすような行為は行いません。
- 16 災害や虐待といった安全を脅かすような差し迫った危険がある場合を除いて、子ども・若者を自宅に

招き入れたり、子ども・若者と同じ床で眠ることはしません。例外的な状況においても、2人きりで行うことは避けるようにします。

- 17 本人の同意に基づかない性のあり方の多様性への配慮に欠けた行為（特に、トイレ、更衣室、書類で性別欄・戸籍名・法律上の名前を不必要に記載させること、それらを開示させることなど）は行いません。
- 18 子ども・若者の自立や自己決定を妨げるような、必要以上の支援や介入は行いません。
- 19 本人及び団体の事前許諾なしに、活動に参加・参画する子ども・若者の画像・動画を撮影すること、あるいは、子どもや若者に関する個人的な情報をメディアやSNSなどで拡散し、関係者外に伝達することは行いません。
- 20 本セーフガーディング行動規範・指針に抵触する行為、または類似すると考えられるその他の行為・申し立て等について、適切な手順に沿って速やかに報告します。
- 21 プライドプロジェクトの活動に関わる以前・以降のものを問わず、子ども・若者の搾取・虐待・性犯罪に関わる全ての前歴・前科について虚偽なく速やかに開示します。

・当団体の活動に参加・参画する方は、事前に本行動規範を確認し、誓約書をご提出ください。